

第9章 松任南部地域（林中・山島）の方針

1. 地域の概況

（1）位置・面積

本地域は林中・山島の2地区で構成され、松任中央・松任西南部・鶴来北部の各地域に接するとともに、野々市市・川北町とも接しています。

本地域の面積は約 1,201ha であり、市全域の 1.6%、都市計画区域の 11.5%を占めています。

【地域の位置】



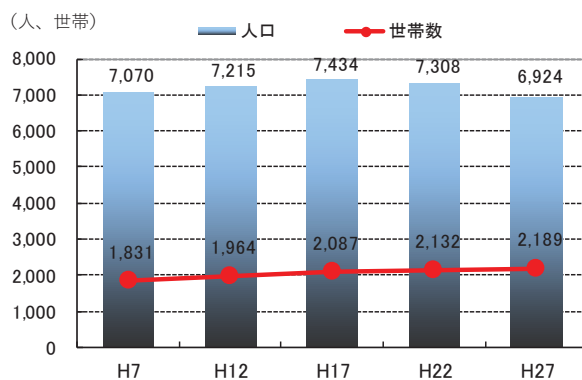
（2）人口・世帯数

本地域の人口は、平成7年からの20年間で146人減少（2.1%減少）、平成17年からの10年間で510人減少（6.9%減少）しており、人口の減少が続いています。

世帯数は平成7年からの20年間で358世帯増加（19.6%増加）、平成17年からの10年間で102世帯増加（4.9%増加）しており、世帯においては増加が続いています。

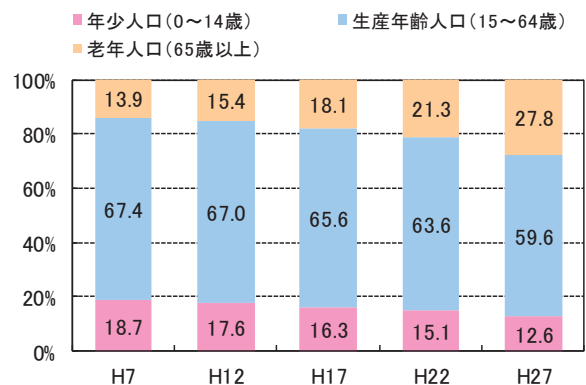
年齢構成は、高齢人口割合の増加がみられ、平成27年で高齢人口割合が27.8%と平成7年から13.9ポイント増加していますが、白山市全体における高齢人口割合25.6%よりも若干高い割合となっています。

【人口の推移】



出典：国勢調査

【年齢区分別人口割合の推移】



出典：国勢調査

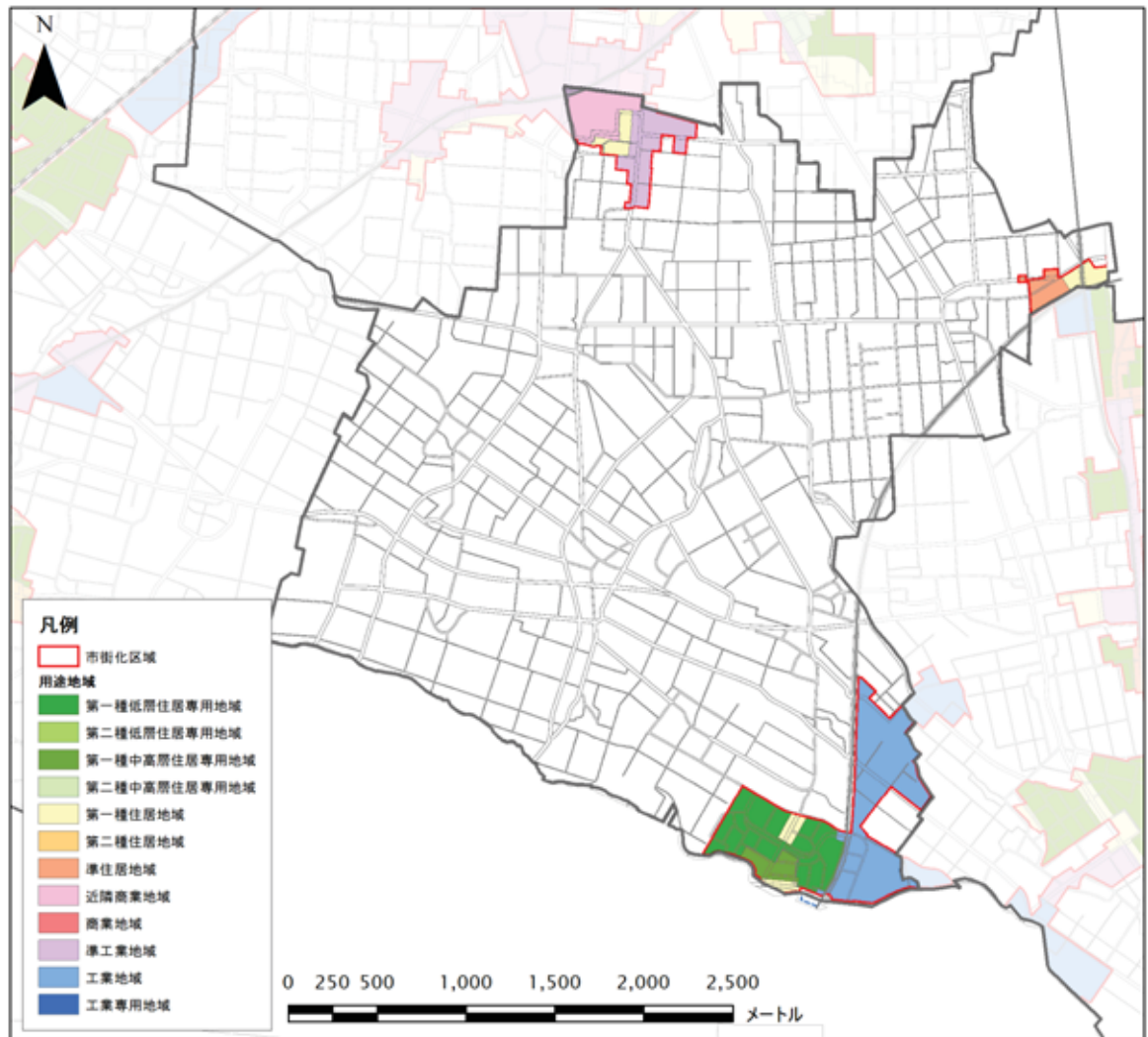
(3) 土地利用

①土地利用規制の状況

地域の大部分が市街化調整区域に指定されており、地域南部の山島台などで住宅系、松任先端技術団地や山島工業団地で工業系の用途地域が指定されています。

山島台や藤木町では良好な居住環境を形成するために、石川ソフトリサーチパークでは研究・開発業務の活動環境を保全するため、地区計画が定められています。

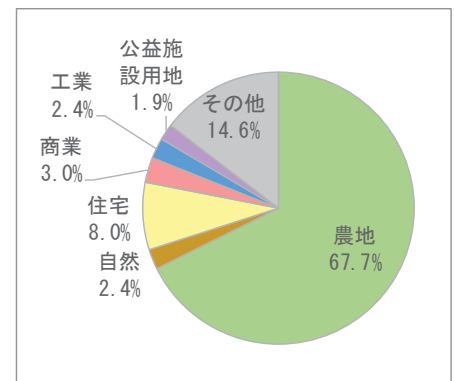
【松任南部地域の土地利用規制状況】



②土地利用状況

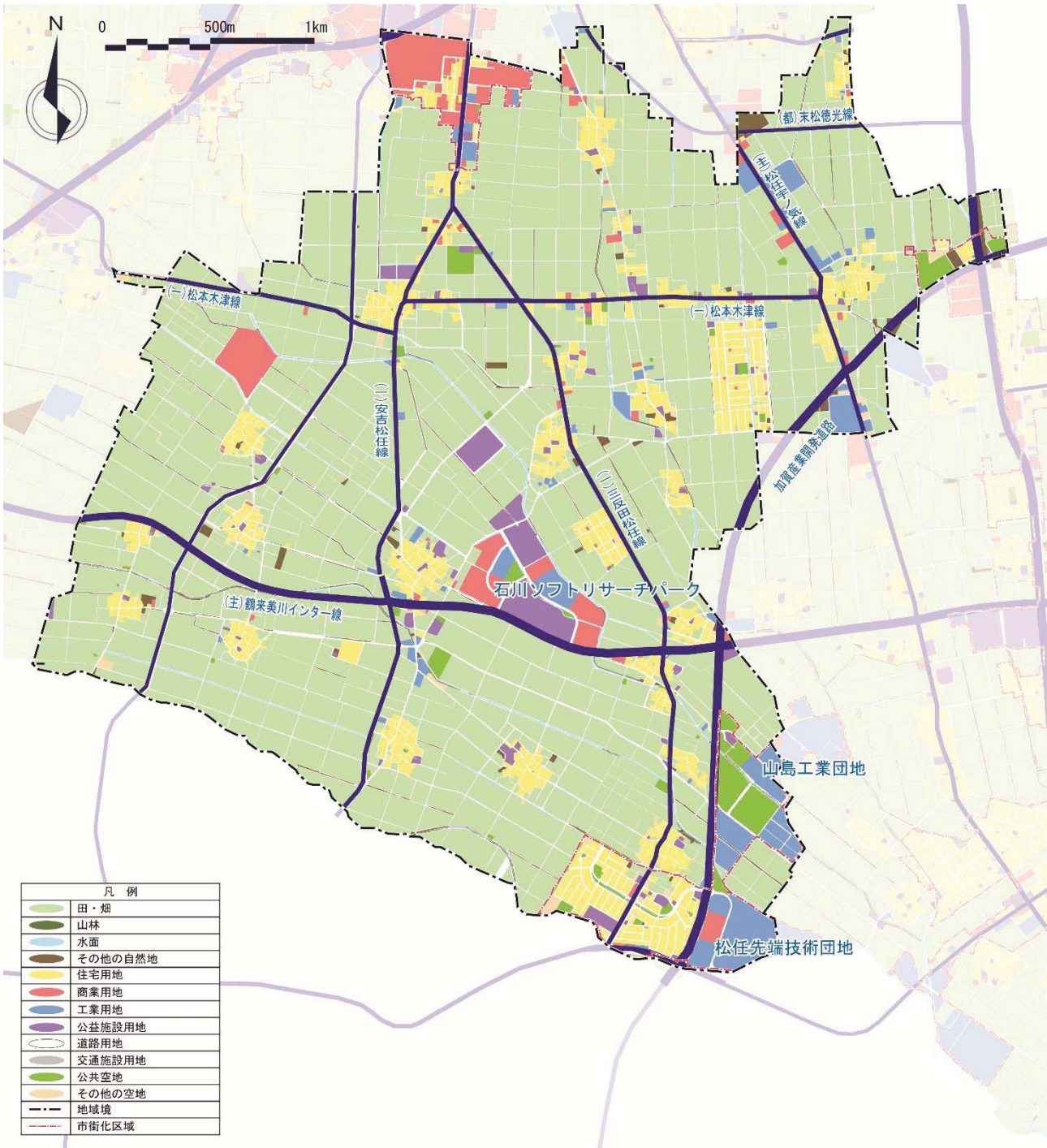
地域の土地利用として、「農地」が最も多く 67.7% を占め、他地域と比べ、「農地」の割合が最も多い地域です。農地の中に集落が点在していることが、本地域の特色として挙げられます。

【土地利用の割合】



※その他：道路、交通施設、公共空地、その他の空地の合計

【松任南部地域の土地利用現況図】



※土地利用は白山市都市計画基礎調査（H28）を一部修正したもの

全体構想

松任中央

松任西南部

松任北西部

松任北部

松任南部

美川

鶴来南部

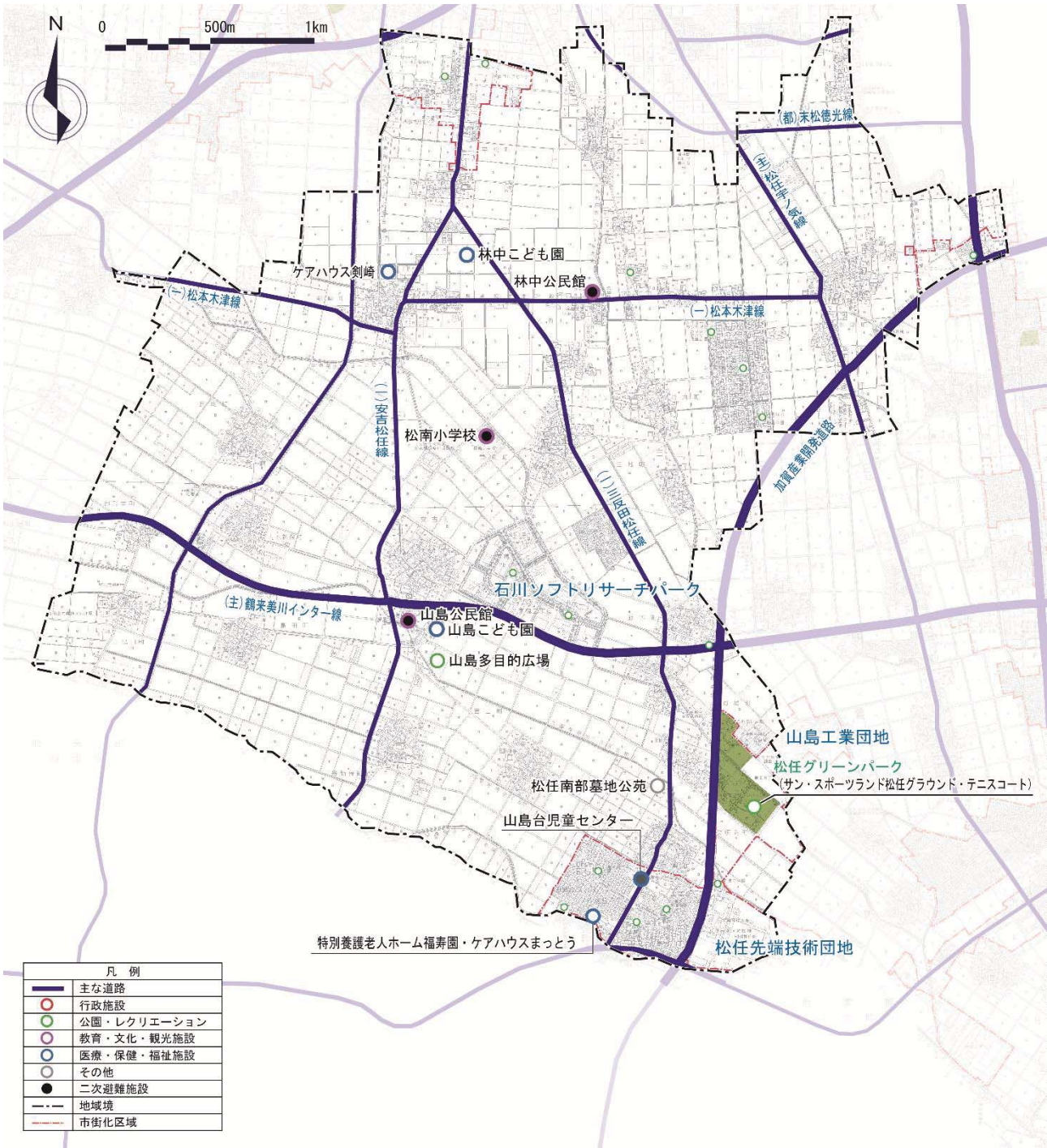
鶴来北部

白山ろく

(4) 地域の主な都市施設

項 目		主な施設
産 業		石川ソフトリサーチパーク、松任先端技術団地、山島工業団地
公共交通		路線バス、コミュニティバス（めぐーる）、タクシー
道 路		加賀産業開発道路、（主）松任宇ノ気線、（主）鶴来美川インター線、 （一）松本木津線、（一）三反田松任線、（一）安吉松任線、 （都）末松徳光線
公園・ レクリエーション		松任グリーンパーク、山島多目的広場
教育・ 観光・ 文化・ 観光	教育	松南小学校
	文化	林中公民館、山島公民館
	観光	—
医療・ 福祉・ 保健・ 福祉	医療	—
	保健・ 福祉	特別養護老人ホーム福寿園・ケアハウスまっとう、ケアハウス剣崎、 林中こども園、山島こども園、山島台児童センター
その他		松任南部墓地公苑

【松任南部地域の主な都市施設分布図】



2. 地域の意向

(1) 市民アンケート結果

道路整備や公共交通のあり方に関しては「バス交通の利便性向上」が 53% (+7 ポイント) 挙げられています。

また、自然環境や景観の保全に関しては「田畑などの田園風景の保全」が+7 ポイント、防災・防犯対策に関しては「ライフライン施設等の機能確保」が 44% (+6 ポイント) と、他地域よりも多く挙げられています。

本地域においては、地域の利便性の向上などが求められています。

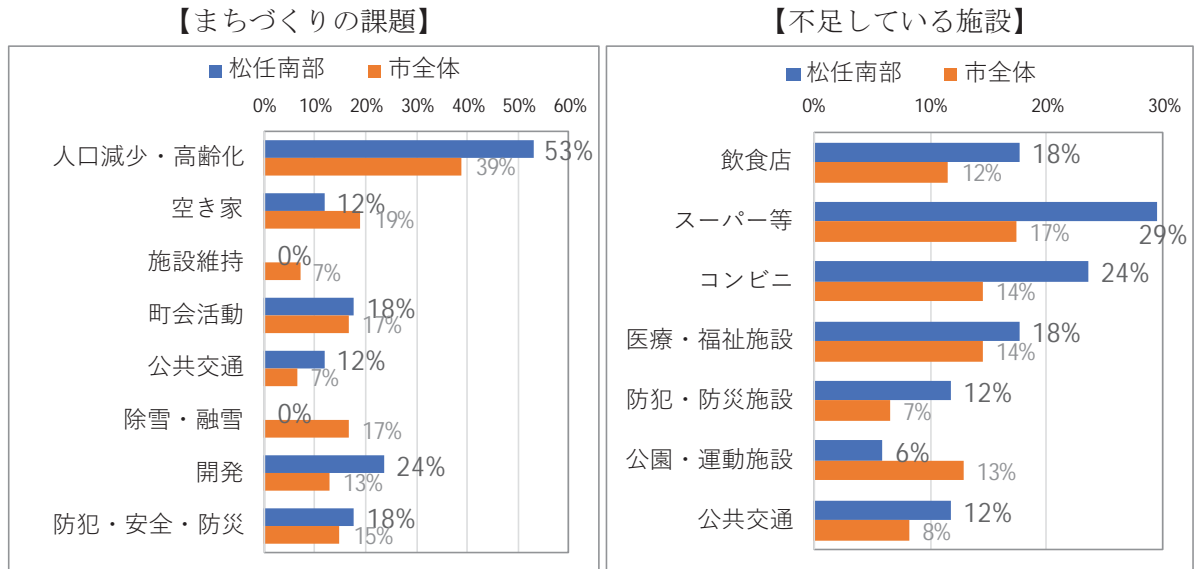
白山市の将来像	(割合)	(全体との差)	重視する施策	(割合)	(全体との差)
① 福祉の充実したまち	46%	2pt	① 歩いて暮らせる便利なまち	38%	±0pt
② 自然環境を大切にするまち	22%	3pt	② 地域みんなで協力しあうまち	31%	8pt
③ 居住環境の充実したまち	20%	4pt	③ 医療・保健福祉の充実	31%	-2pt
良好な住宅地の取り組み	(割合)	(全体との差)	農村・山村地域の活性化	(割合)	(全体との差)
① 生活利便施設の立地促進	37%	±0pt	① 地場製品の PR や販売推進の支援	30%	1pt
② 空き家、空き店舗などへの対策	36%	5pt	② 加工・販売施設などの整備	28%	2pt
③ 計画的なまちづくりの推進	26%	4pt	③ ルールの強化	26%	±0pt
工業振興に必要な都市基盤	(割合)	(全体との差)	商店街等の活性化	(割合)	(全体との差)
① 工場側の環境対策や美観の推進	25%	-6pt	① 駐車場の確保	52%	9pt
② 職住近接の推進	23%	7pt	② 公共交通の充実	51%	5pt
③ 既存工場の工業団地への移転	16%	±0pt	③ 定住人口を増やす	18%	-3pt
道路整備や公共交通のあり方	(割合)	(全体との差)	公園や緑地の整備	(割合)	(全体との差)
① バス交通の利便性向上	53%	7pt	① 子供の遊び場となる身近な公園づくり	30%	1pt
② 雪に強い交通環境の確保	35%	-1pt	② 維持・管理の充実	30%	6pt
③ 歩道の拡幅や段差解消	27%	2pt	③ 災害などに活用できる公園づくり	28%	-5pt
自然環境や景観の保全	(割合)	(全体との差)	防災・防犯対策	(割合)	(全体との差)
① 里山、水辺などの自然景観の保全	38%	±0pt	① ライフライン施設等の機能確保	44%	6pt
② 田畑などの田園風景の保全	32%	7pt	② 犯罪防止設備の整備	41%	5pt
③ 合意形成によるルールづくり	24%	±0pt	③ 河川の氾濫や浸水被害への対策	25%	5pt

※ オレンジ塗り箇所は、全体から 10pt 以上多い項目、黄色塗り箇所は、全体から 5pt 以上多い項目

(2) 町内会アンケート

地域におけるまちづくりの課題として、「人口減少・高齢化」が53%の町内会から挙げられており市全体よりも割合が多くなっています（+14ポイント）。

また、地域に不足している施設として、「スーパー等」（29%、+12ポイント）、「コンビニ」（24%、+10ポイント）が多く挙げられています。



※割合は自由回答を分類し、町内会数で割り戻したもの

3. 地域のこれまでの取り組みと今後の課題

(1) これまでの主な取り組み (H22.4～R2.3)

土地利用	○市街化区域の拡大 (H24.6) ○まちづくり開発制度の導入 (内方新保町)
市街地整備	○土地区画整理事業の完了 (山島地区新工業団地 : H28)
産業	○工業団地の整備 (山島工業団地)
公共交通	—
道路	○川北大橋の無料化 (H25)
公園	○松任グリーンパークの駐車場の増設 (H27) ○松任グリーンパークの都市公園化 (R2) ○松南小学校跡地のグラウンドとしての整備 (H26)
供給処理施設	○上下水道施設の更新・耐震化
河川	○手取川七ヶ用水の改修 (事業中)
教育・文化・観光	○松南小学校の整備 (H24.9)
環境・景観	○地区計画の設定 (藤木地区 : H24、山島台地区 : H23)
医療・保健・福祉	○林中こども園の移転・改築 (H28.4)
防災・交通安全・ 防犯	○グリーンベルトの設置

(2) 今後の課題

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○既存住宅地や集落における良好な居住環境の保全 ○空き家バンクの活用などを通じた中古住宅の流通促進 ○集落内の生活利便施設の充実 ○交通利便性の優れた幹線道路沿道などにおける商業地の維持・拡充 ○優良農地の保全と集落の活力維持のための適正な開発 ○交通利便性が高いエリアへの居住・都市機能の誘導
市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> ○各工業団地の周辺環境への配慮
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ○路線バスやコミュニティバスの運行本数・利便性の確保・充実 ○交通利便性が高いエリアへの居住・都市機能の誘導
道路	<ul style="list-style-type: none"> ○加賀産業開発道路などの幹線道路の適正な維持 ○道路幅員が狭い区間の解消によるアクセス性の向上と安全性確保 ○自転車歩行者道の整備、バリアフリー化による安全性確保 ○幹線道路の整備による生活道路への通過車両の縮減、集落の外周道路の整備 ○中村用水沿いの自転車道・遊歩道の整備による自転車系・歩行系ネットワークの形成
公園	<ul style="list-style-type: none"> ○公園の適正な維持管理および施設の充実 ○地域ニーズに合わせた適正な公園配置 ○松任グリーンパークの維持・充実
供給処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ○上下水道施設の適正な維持管理 ○農業集落排水施設の公共下水道への統合
河川・砂防・海岸	<ul style="list-style-type: none"> ○手取川七ヶ用水やその他の水路の施設維持と有効活用
教育・文化・観光	<ul style="list-style-type: none"> ○文化施設や地域活動拠点施設の維持・充実
医療・保健・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉施設の維持・充実 ○保育施設の整備による安全性の確保 ○公共公益施設のバリアフリー化・ユニバーサルデザインの推進
環境・景観	<ul style="list-style-type: none"> ○ホテルなどが生息する自然環境の保全 ○周辺環境に配慮した施設の誘導・制限などによる生活環境の保全 ○良好なまちなみ景観の保全 ○白山眺望や田園・河川などの美しい自然景観の保全
防災・交通安全・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ○水路の改修や調整池の適正な維持管理 ○災害時における適切な誘導経路や避難場所の確保 ○交通安全施設の充実による安全性の確保 ○雪に強い道路網の整備 ○街路樹の適正な管理や防犯灯・防犯カメラなどの犯罪防止設備の充実 ○空き家解消による防犯強化

4. 地域の将来像

【松任南部地域の将来都市像】

豊かな田園と調和し、居住環境や産業が充実した 暮らしやすく快適なまち

本地域の全域に広がる田園の積極的な保全とともに、集落環境の充実や産業集積地の拡充により、活力ある地域づくりをめざします。また、地域間移動のための交通ネットワークや生活利便施設の維持を図り、暮らしやすく快適な地域づくりをめざします。

【松任南部地域のまちづくり方針】

方針①：安全・安心な農産物を安定供給する美しい田園集落の保全

- ◇食の原点である農産物生産の場としての優良農地の維持・保全
- ◇集落の活力維持と生活利便施設の維持
- ◇美しい景観を創出する田園空間や豊富な自然環境の保全と活用

方針②：個性豊かで快適な居住環境の保全・形成

- ◇既存住宅地の良好な居住環境の保全・形成
- ◇住民のニーズに応じた生活利便の向上

方針③：周辺環境に配慮した産業集積地の形成

- ◇白山ろく地域を含めた市南部の就業の場の確保と産業の受け皿となる研究・開発・工業団地の充実

方針④：快適な交通ネットワークの形成

- ◇加賀産業開発道路の機能維持と周辺環境の充実
- ◇幹線道路やアクセス道路の整備による交通ネットワークの充実
- ◇歩行者や自転車に配慮した交通環境の充実
- ◇地域住民の移動を支えるバス交通の維持・充実

5. 地域のまちづくり方針

(1) 土地利用の方針

①住宅系土地利用（住宅専用地区）

山島台ニュータウンやみずほ台などの戸建て住宅を中心に形成されている住宅地では、今後も土地利用の混在化を防ぎながら、地区住民の生活利便性の向上を図り、良好な居住環境の保全に努めます。

点在する空き家については、空き家バンクの活用などを通じた流通を促進し、中古住宅の利活用をめざします。

②商業系土地利用（商業・業務地区）

地域北部における国道8号沿道の大規模商業施設は、本地域だけでなく周辺市町など広域圏を対象とした商業拠点として、今後も位置付けます。

③工業系土地利用（工業・物流地区、研究・開発地区）

交通の利便性が高い加賀産業開発道路沿線の松任先端技術団地から山島工業団地では、白山ろく地域を含めた市南部の就業の場を確保し、工業用地の需要に応じ、周辺環境に配慮した工業団地の整備・拡充により積極的な企業誘致に努めます。

（主）鶴来美川インター線沿線の石川ソフトリサーチパークにおいては、今後とも研究・開発業務を中心とした工業地としての維持・充実に努めます。

④田園系土地利用（田園・集落地区）

地域内の大部分に広がる水田や畑などの農地については、本市の豊富な地下水の涵養機能^{かんよう}を有するとともに食の原点であり、安全・安心な農作物の安定的供給拠点として、また、白山市の農業を支える重要な基盤として、今後とも大型機械による水稻作付を中心とした優良農地の維持・保全に努めるとともに、用水路などの基盤施設の充実に努めます。

地域内に点在する既存集落のうち、新規居住者を呼び込んでの活力維持や生活利便施設の誘導を図ろうとする集落では、市街化調整区域においても均衡ある発展が図られるよう、まちづくり開発制度を活用した一定の開発や建築を可能とする計画策定により、周辺の田園景観と調和した集落環境の充実に努めます。

市街化区域に連たんしないため、今後も市街化編入が見込まれない既存開発地において、廃業などにより環境の悪化が懸念される場合は、周辺の土地利用に十分配慮しつつ、市街化調整区域における地区計画の策定などにより、跡地の有効活用を進めます。

⑤その他の土地利用（観光・スポーツ・レクリエーション地区）

加賀産業開発道路沿道に存在する松任グリーンパークは、地域の住民や従業者の憩いの場として、さらに市民をはじめとする来訪者の交流の拠点として施設の維持・充実に努めます。

(2) 都市施設整備の方針

(2)-1 交通

①バス交通

路線バスは、高齢者をはじめとする地域住民の重要な交通機関として、J R松任駅をはじめとした主要施設や生活拠点を経由する路線が維持されるよう関係機関に働きかけます。

コミュニティバスについては、現状の機能維持とともに、利用状況やニーズに応じたルート・ダイヤなどの検討により、地域間移動の利便性向上に努めます。

(2)-2 道路

①幹線道路

加賀産業開発道路や(主)鶴来美川インター線、(都)末松徳光線は、白山市と近隣市町や市内の各地域間を結ぶ幹線道路として、渋滞対策のほか、道路機能の維持に努めます。

(主)松任宇ノ気線や(一)安吉松任線、(一)三反田松任線などは、松任中心市街地へアクセスする路線として、機能の維持・充実を図るとともに、地域内の幅員が狭い区間の拡幅やバイパス整備の具体策を関係機関・地元と検討します。

幹線道路では、交通量や歩行者の状況に応じて、自転車歩行者道の設置や信号機・横断歩道などの交通安全施設の充実と道路の適正な維持管理に努めます。

②生活関連道路

幹線道路へアクセスする道路の整備により、生活道路への通過車両の進入を縮減するとともに、集落の外周道路整備などにより、安全・安心な地域づくりを推進します。

既存道路の自転車歩行者道においては、段差解消などによるバリアフリー化に努めます。

③その他の道路・施設

地域を流れる中村用水に沿って自転車道や遊歩道の整備を図ることにより、既設の山島用水親水ロードや幹線道路の自転車歩行者道と合わせた自転車系・歩行系ネットワークの形成をめざすとともに、通学路としての利用を促進することにより、児童や生徒の交通安全を確保します。

(2)-3 公園・その他の都市施設

①身近で親しみやすい公園

小規模な公園が充実している地区においては、これらの公園の適正な維持管理に努めるとともに、住民・企業の参加による維持管理の促進により、地域住民の愛着醸成を図ります。

また、今後新たに開発される地区においては、開発の規模に応じ、周辺の住民も利用可能な、小規模な公園の整備を促進します。

②スポーツ・レクリエーション施設

松任グリーンパークは、地域住民憩いの場として、さらに市民のスポーツ・レクリエーション活動を含めた健康づくりや交流の拠点となる施設については、既存施設の維持・充実に努めるとともに利用促進を図ります。

多目的グラウンドとして整備された松南グラウンドの既存施設の維持・充実に努めるとともに利用促進を図ります。

③その他

地域にある松任南部墓地公苑については、機能の維持・充実に努めます。

(2)-4 供給・処理施設

上水道の区域や公営簡易水道の区域は、ライフラインの強化のため、主要水道施設の耐震化をはじめとする施設の計画的な更新や整備を図るとともに、安全・安心でおいしい水の安定供給に努めます。また、民営簡易水道などにより生活用水が供給されている区域においては、水道法を遵守することを前提とした指導および助言や、施設の更新・整備について支援を行うとともに、上水道化の希望がある組合などから順次、給水区域の公営化および統合化を推進します。

下水道については、処理場施設の統廃合やストックマネジメントによる計画的・効率的な施設管理に努めます。

今後新たに開発する区域においては、必要に応じて事業計画の見直しを行い、整備を推進し、快適な生活環境の充実と自然環境の保全に努めます。

(2)-5 河川・水路

本地域を流れる中村用水、山島用水、大慶寺用水の手取川七ヶ用水の施設維持および河川環境の保全を図るとともに、親水機能を持つ遊歩道やポケットパークの整備などの、用水路の積極的な活用を検討します。

(3) 教育・文化・観光の方針

①文化・交流施設の充実

林中公民館、山島公民館は、地域活動や交流の拠点として、適正な施設の維持および利用環境の整備に努めます。

地域各地に存在する集会施設は、町内会活動の拠点として、施設整備や改修などへの支援を行います。

(4) 医療・保健・福祉の方針

①高齢者福祉施設の充実

地域包括ケアシステムの深化・推進に努めるとともに、地域バランスやニーズを考慮しながら高齢者福祉施設の充実に努めます。

②子育て支援施設の充実

老朽化が進む山島こども園については、改築を行い保育環境の充実に努めます。

その他の保育施設については、必要に応じて人口の分布などに対応した整備を促進し、子育てを支援するための環境整備に努めます。

③障害者福祉施設の充実

地域包括ケアシステムの構築を踏まえ、障害福祉サービス事業、地域活動支援センター、障害者支援施設、障害児入所施設などの充実に図ります。

④公共公益施設のバリアフリー化の推進

様々な住民が利用する公共公益施設については、バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進などにより、だれもが利用しやすい環境づくりに努めます。

(5) 環境・景観などの方針

(5)-1 環境

①自然環境の保全

市民の身近な自然環境である用水路や田園の一部にはホタルの生息が確認されていることから、今後とも生態系の保護や水質のさらなる改善により、自然環境と共生する地域づくりを推進します。

松任グリーンパークにおいては、既存の樹木の維持・充実に努めます。

廃棄物の不法投棄に対する定期的な監視や意識啓発を行うことにより、良好な自然環境の保全に努めます。

②生活環境の保全

商工業活動にともなう、周辺住宅などへの騒音・振動・悪臭については、その発生抑止を図りつつ、適正に施設の立地を誘導・制限します。

また、工場周辺の緑化の推進や水環境・大気環境の保全などにより、良好な生活環境の保全を図ります。

(5)-2 景観

①市街地などの景観形成・保全

山島台ニュータウンなどの良好なまちなみ景観を有する住宅地は、今後も景観の維持を図ります。また、新たに整備される住宅地や工業団地などにおいても、積極的に地区計画やまちづくり協定などを活用し、周辺の景観と調和を保ちながら、良好な市街地景観の形成を図ります。

工場などの大規模な建築物などの建築に際しては、敷地内の緑化推進や色彩の制限など、周辺への配慮が図られるよう誘導します。

②水・緑の景観形成・保全

地域全域においてみられる良好な田園集落景観や白山眺望景観は、本地域を代表する景観として、優良農地の保全などにより景観保全に努めます。

中村用水や山島用水、大慶寺用水などの手取川七ヶ用水やその他の農業用水路は、ホテルが飛び交う美しい景観を創出しており、今後とも良好な河川環境の保全を図るとともに、景観に配慮した遊歩道の整備など積極的な活用を検討します。

(6) 都市防災・交通安全・防犯対策の方針

(6)-1 防災

①水害に強い地域づくり

豪雨による水害を防ぐため、高橋川の拡幅・改修を促進するとともに、手取川や高橋川の氾濫により浸水が想定される地域南部や西部などにおいては、洪水ハザードマップの周知徹底を行い、避難行動の迅速化を図ります。

流下能力が不足している水路の改修により、降雨時の浸水被害の軽減に努めるとともに、水路や調整池の適正な維持管理・指導を行い、水害に強い地域の形成に努めます。

②地震や火災などの災害に強い地域づくり

地震や大火災などの大規模災害時において安全に避難できるように、公園・緑地の活用による避難場所の適正な配置に努めます。また、消火栓などの消防水利の充実・強化に努めます。

③雪害に強い地域づくり

通学路および主要な幹線道路の交通確保を最優先とし、生活道路の除雪については、地域住民の協力を得ながら除雪体制の強化に努めつつ、必要に応じて消雪・融雪設備の充実を検討します。

④減災に向けた地域づくり

二次避難施設への備蓄品配備や、全世帯への防災行政無線戸別受信機の設置とともに、地区単位での避難所運営が実施できるよう防災訓練を支援し、防災意識の醸成や災害時における地域住民の共助がなされる地域づくりに努めます。

(6)-2 交通安全・防犯対策

松南小学校や松任中学校の通学路など、多くの児童・生徒が通行する箇所や交通量が多く自転車歩行者道が未設置の区間など、歩行者などが危険な箇所においては、自転車歩行者道の設置や信号機・横断歩道などの交通安全施設の充実や時間帯規制による自動車の流入量の抑制、グリーンベルトの設置などによる安全性の確保に努めます。

住宅地・集落などにおいては、児童・生徒や高齢者などの歩行者の安全を守るため、ゾーン30の指定などの自動車の速度抑止対策や段差の解消などの歩行空間の改善を図ることで、安全かつ人と車が共存・共生できる道路交通環境づくりを推進します。

通学路などにおいては、防犯灯や防犯カメラの充実などにより防犯体制の強化に努めます。また、空き家の解消を通して、不審者の出没を防ぐ一端としていきます。

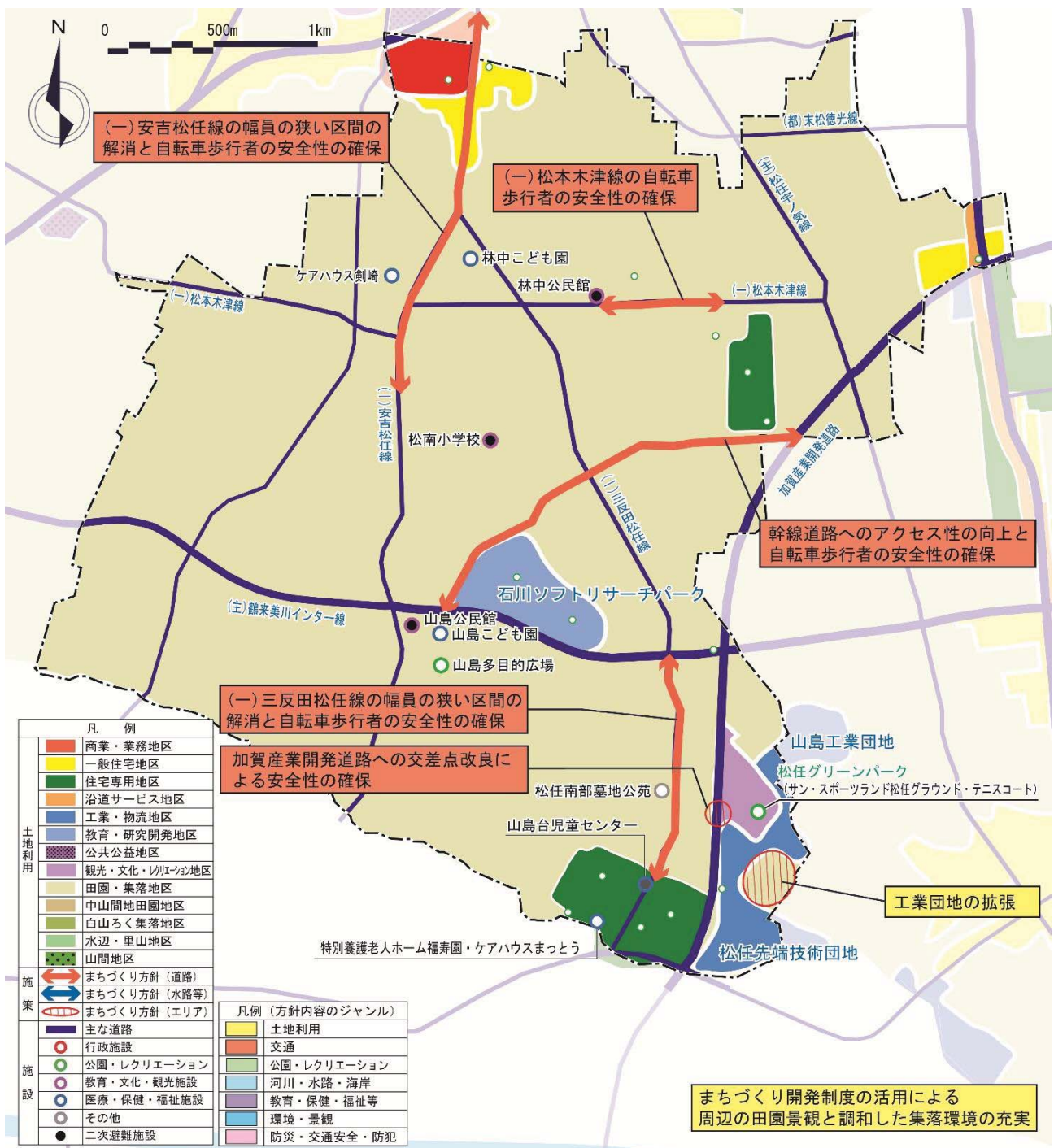
(7) その他の方針

①市民協働

地域の多様化する課題に対応しながら、だれもが将来にわたって安心安全で住みよいまちを実現していくため、地域と行政が共にまちづくりに取り組む「市民協働で創るまちづくり」を進めていきます。

地域の特色に応じたまちづくりを進めるため、地域全体で担う新たな地域コミュニティ組織の設立や、その活動を支援する新たな制度について検討を進めるとともに、まちづくり活動に対する気運の醸成や担い手の育成に努めます。

【松任南部地域のまちづくり方針図】



※まちづくり方針エリアについては、今後、開発の可能性がある区域を示したものであり、マスタープランの計画期間での整備を前提としたものではありません。